

必ず覚えてください！避難のポイント！

■避難に対する基本的な考え方

避難は自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら判断し、適切な行動を取らなければなりません。



- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる
- 浸水の危険がある地域に住んでいる
- 子どもや高齢者など家族に要配慮者がいる

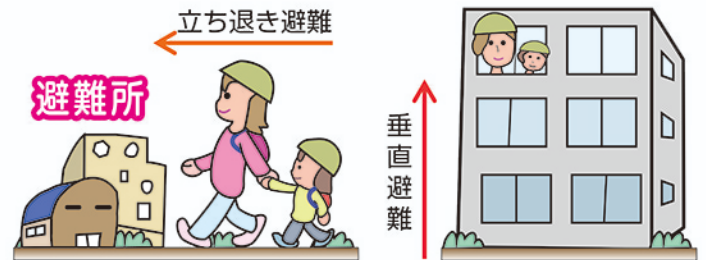


早めの避難を心がけてください

命を守る最低限の行動を

危険な状況の中での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難所の移動だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

- 夜間や急激な降雨で避難経路の危険箇所がわかりにくい
- ひざ上まで浸水している（50センチ以上）
- 浸水は20センチ程度だが、水の流れが速い
- 浸水は10センチ程度だが、側溝等の位置が不明で転落の恐れがある



屋外での移動は危険です。浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近隣の建物の2階以上へ避難し、救助を待つことも検討してください。

避難に関する3つの情報

1. 避難準備・高齢者等避難開始

- 人的被害が発生する危険性が高まった状況
- 避難するのに時間がかかる方々は避難を開始
- 通常の避難行動ができる人は、準備を始めます

2. 避難勧告

- 人的被害が発生する危険性が明らかに高まった状況
- 発令された地域のすべての住民は避難所に避難します

3. 避難指示（緊急）

- 人的被害が発生する危険性が非常に高まった状況（あるいはすでに被害が発生している状況）
- 全ての住民は避難が完了していなければなりません
- 避難する余裕がない人は命を守る最低限の行動をとります

状況によっては無理な避難は危険！
とにかく早期の避難を心がけてください！